

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会
第 76 号
2017(平成29)年7月15日(土)

論語的人生が難しい

おとなじゆくせい たかはし まさる
大人塾生 高橋 優

平成 24 年 6 月号以来 2 回目の寄稿になります。そこから丸 5 年経過した訳ですが、当時描いた『人生締めくくり・教え塾』への参加は残りの人生の“自己向上”にととても良かったと判断しております。

就学前の子供さんから高齢の方まで一緒になって、坐禅・論語(素読)を実践して行く形式はまさしく今風、江戸寺子屋であり、学び舎(や)の原点であると思われます。

子供達がそれぞれに“協調性や集中力”を塾回毎に向上させて行く姿は、高齢の目に感動をもたらします。明日の日本を担うであろうこの子達には大きく成長してもらい、我々も出来る限り応援し続けたいと思う次第です。さて、私事になりますが、論語の核となる仁・義・信・智・礼の心を描き磨くという基本理念が、机上では大変良く理解できるのですが、正直に申せばそれを忠実に実践する事が相当難しく感じております。

企業人と生きてゆく中で、深みのある実践は矛盾との葛藤が多々あります。至らない限りですが、これからの課題は教をどう実践(実行)するかにあります。座して頑張ります！

最後に私の伝えたい訓言(論語以外)を紹介します。

1. 人は城、人は石垣、人は堀(信玄公)
2. 人は負くる事知りて、人より勝れり(家康公)
3. 我、事に於いて後悔せず(武蔵翁)

概ね 7 年の長きに亘り、塾会を運営されて来られた皆様に心より感謝申し上げる次第です。

夏休みを有意義に過ごしましょう。

外で思い切り遊び、本を読むことも心掛けて下さい。礼(マナー)、仁(思いやり)を忘れないように！受験生は心身のバランスを大切に！希薄になりつつある親子の対話が一層深まることを願っています。

塾生紹介

いちざわ かずきくん 氏 名 たけた しずか
市澤 一輝君 武田 静さん

北海道教育大学附属札幌小学校 4 年 学校名 家庭の主婦
社会 好きな教科 生物(学生時代)
父 尊敬する人 父
歴史の本を読むこと 趣味 手芸

その他

習い事は習字・水泳・野球・そろばんで特技は野球とのこと。食べ物ではお寿司が大好きだそうです。一輝君のお父さんは、「良く学び良く遊べ」という言葉がありますが、息子には人生で大切なことをたくさん、そして謙虚に教わってほしいとコメントしてくれました。

サークル活動でコーラスをやり、藍染を楽しんでいるとのこと。好きな物は梨・スイカだそうです。武田さんは「子供も大人も真剣に取り組む、このような世界(場)があること、そして、その仲間に入れて頂いていることに感謝しています」と控え目に話してくれました。

先生からのコメント

一輝君は今、特に野球に打ち込んでいます。将来の夢は野球選手になることだそうです。論語塾での坐禅は心も体も落ち着くのでリラックスできるとのことです。論語の時間の一輝君は、とても積極的に取り組んでいます。先唱役も何度かやってくれました。論語塾には野球があるので毎月の出席は無理ですが、孔子先生のような偉大な人になれればいいと話してくれたことがとても印象に残っています。

京都の洛北周山で生まれ育ち、縁あって札幌で暮らし 40 年が過ぎたとのこと。今は亡き町議会議員をされていたお父様から幼少時に諭された、論語「義を見て為さざるは勇無きなり」の一節が今も脳裏に焼き付いているそうです。父親の書棚を見るたびに、いつか学びたいと思いつけていた論語塾にやっと出会えた気がするとのこと。私としては嬉しい限りです。